

第1回 久木会館建替えワークショップ 議事概要

■開催日時：2023年（令和5年）4月15日（土） 10：00～12：00

■開催場所：久木会館

■参加者：公募市民：9名（欠席2名）

小林由高ファシリテーター（市民交流センター副館長）

（株）綜企画設計（飯田氏、渡邊氏）

市民協働課（西久美子係長、今野仁介主事（議事録作成者））

■配付資料

・久木会館建替え間取り図（案）

■議事

1. あいさつ、進め方

・本ワークショップ（以下、WSとする）について、市民交流センター小林由高副館長がファシリテーターとして全体的な進行役を務める。WSの目的や現時点での大まかなスケジュールの説明があった。

2. ワークショップ

・参加者から自己紹介があり、久木会館についての思いや考えを述べた。

・市民協働課西係長より、久木会館を建替えることとなった経緯の説明があった。

⇒教育総務課が久木小学校の長寿命化の計画を進めていく中で、当初は躯体を活かしたままでの改修を想定していたが、容積が必要となる体育館棟（久木会館含む）については建て替える判断となった。本WSにおけるゴールは、メンバーで話し合ったうえで、新しい久木会館の機能及び間取りの素案を作成することを想定している。なお、昨年度に教育総務課で基本構想のパブリックコメントを終えているため、既に決定している久木会館の位置等についての議論をすることはできない。

・設計会社の（株）綜企画設計より、配布資料「久木会館建替え間取り図（案）」について説明があった。

- ① グレーで表示している壁・柱は動かさない。
- ② 2つの出入口のうち、どちらかをメインの玄関に設定する。
- ③ トイレ等の水回り関係の設備はグラウンド側に設置する。

≪意見概要≫

（メンバー）

・外構（会館の外部）についての意見を伝えたい場合はどうしたらいいか。

(小林由高ファシリテーター)

・本WSで議論する対象ではないため、外構の話は久木会館管理者と市民協働課が取りまとめて教育総務課にお伝えすることとなっている。

(メンバー)

・会館の全体面積に対してトイレの数が多く、専有面積も大きいと感じる。また、設置場所は中央で確定か。

(綜企画設計)

・グラウンド側に設置するという制約はあるが、位置、数の変更等も可能である。また、多目的トイレの設置は必須だが、授乳室の設置は必須ではないので、今後その設置の必要性についても議論の余地がある。

(小林由高ファシリテーター)

・授乳室については、授乳をするためだけとしての利用だけでなく、複合的な機能を付与することを考えてもいいかもしれない。

(メンバー)

・隣の学童の子どもは、建て替え後も現在と同様に学童と会館の往来ができるのか。

(綜企画設計)

・往来はできなくなる。また、トイレについても学童と会館それぞれの施設で設置することとなる。

(メンバー)

・現在のように往来可能であれば学童側に何かあった際に、子どもを助けられるというメリットはある。

(メンバー)

・採光の確保のため、ピロティ側に窓は設けられるのか。

(綜企画設計)

・2階の体育館に上がるための階段があり、ピロティ側に窓を設けることはできないが、グラウンド側、道路側には設置できる。

(メンバー)

・可能であれば、学童のレイアウトを次回のWSの際に示してもらいたい。

(メンバー)

・会館からグラウンドに出られるような出入口は設けられるか。

(綜企画設計)

・勝手口程度であれば可能である。

(メンバー)

・会館管理者のための事務室は設置されるのか。

(綜企画設計)

・設置予定である。

(メンバー)

・図面について、柱の間が何メートルになるか等の記載がないとイメージできないので、次回図面に寸法を記載した資料を配布してもらいたい。

(小林由高ファシリテーター)

・久木会館の上部、2階、3階には何が入ってくるのか。

(綜企画設計)

・2階は体育館、ふれあいスクール、特別活動室、3階は体育館上部、多目的ホール、通級教室となっている。

(メンバー)

・既存の利用者が建て替え後もそのまま継続して利用してくれるような作りにしたい。具体的な利用目的として、通常の会議、バレエのレッスン(周囲にガラス設置)、ピアノの習い事等が想定される。

(メンバー)

・防音性能についてはどの程度になるのか。

(綜企画設計)

・防音について、全く聞こえないレベルにすることは不可能である。ただ、現状の久木会館よりは防音性が高くなる想定である。

(メンバー)

・バレエのレッスンをする部屋の床にリノリウム(弾力性や防滑性がある建材)を使用することはできるか。

(綜企画設計)

・技術的には可能であるが、今後の議論の中でご意見をいただければと思う。

(メンバー)

・現在、ブレーカー等の電気設備関係が学校と混在しているが、建て替えにあたってはどういう整理となるのか。

(綜企画設計)

・教育総務課と協議した中では、光熱費についても学校と会館が混ざらないよう、ブレーカー等は施設毎の設置を想定している。

(メンバー)

・現在、久木会館に災害時の備蓄があるが、建て替え後もその物品等はそのまま引き継がれるのか。そもそも防災機能は維持されるのか。

(西久美子市民協働係長)

・基本的には現在の機能等はそのまま維持されると考えているが、教育総務課、防災安全課に確認を行う。

(綜企画設計)

・教育総務課からはメインの避難場所について、2階の体育館になると聞いている。

(小林由高副館長)

・防災関連の情報について、議論の中でかなり重要な部分になると思うので、一度市の方で整理いただいて、第2回のWSでお伝えいただきたい。

(メンバー)

・新しい会館の高さはどのようになる予定か。バリアフリーの観点から車いす利用者のスロープのことも想定する必要がある。

(綜企画設計)

・現在の会館よりも建物全体の高さについては低くなるため、各種法令等に従ったうえで、スロープの勾配もきつくないように設置する予定である。

(メンバー)

・みんなの食堂等のための厨房の設置は可能か。設置場所にも制約があれば知りたい。

(綜企画設計)

・可能である。換気扇の問題や水回りの問題もあるため、制約がないわけではないがある程度の要望には応えられる。設計側の意見としては、トイレ等の水回り関連設備がまとまって設置できるとありがたい。

(メンバー)

・停電時の対応はどのようになっているか。

(綜企画設計)

・蓄電池等も設けて非常時に対応できるようにする予定である。

(メンバー)

・視覚障がい者の利用等も考えると、館内における手すりの必要性についても考えるべきである。

(小林由高副館長)

・そもそも土足での利用になるのか、靴を脱いでの利用になるのかという部分も議論の必要があると感じる。

(メンバー)

・会館の備品については会議室ではなくオープンスペース等に収納できればありがたい。現在の作りの中では、利用者が会議をしている最中に備品を取りに入らざるを得ないこともあり、不便に感じている。

(西久美子市民協働係長)

・現久木会館の備品等は基本的に新しい会館に移して使うことになる。

(小林由高ファシリテーター)

・可能であれば、次回のWSまで会館管理者の方で備品の数や大きさ等の規模感をまとめてリストにしていきたい。

(メンバー)

・現在の会館は貸館業務がメインの仕事となっているが、世代間交流等が行われる機能も備

えた地域の拠点となって欲しい。

(メンバー)

・世代間交流イベントの例として、先日のWBCのパブリックビューイング、みんなの食堂等が挙げられる。

(メンバー)

・会館もICT化を推進し、防災に関する情報集約、情報発信の強化ができればと思う。

(メンバー)

・オープンスペースの活用は課題と考えている。例えば本棚を置いて読書ができる場所にする、勉強できるスペースを開放して中高生に立ち寄ってもらう等のアイデアが考えられる。

(メンバー)

・Wi-Fiは無料開放しているため、その周知により集客につながる可能性があると感じる。

(小林由高ファシリテーター)

・ハード、ソフトの両面を考慮し、気軽に立ち寄れる仕組みが作れると良いかもしれない。

(メンバー)

・他の施設を参考にすると、無料で使えて、多少のお喋りも許される場所という要素が、中高生の集客につながるのではないかと。

3. 次回までの宿題、確認事項、スケジュール

●次回までの宿題

・第2回WSではメンバーでアイデアを出し合う場にするため、各自で様々な施設（公共施設に限らず）について、こんな機能があったらいいなという視点をもって事前に調査をする（ネット、雑誌等でも可）。

●確認事項

- ① 寸法入りの図面の用意…市民協働課
- ② 新しい学童施設の現時点でのレイアウト…市民協働課
- ③ 新しい久木会館の防災部分における役割…市民協働課
- ④ 現在の久木会館の備品リストの用意…久木会館

●スケジュール（会場：久木会館）

○第2回WS

日時：令和5年5月13日(土) 午前10時～

○第3回WS

日時：令和5年5月27日(土) 午前10時～

○第4回WS

日時：令和5年6月10日(土) 午前10時～

※本概要を久木会館に配架し、WS参加者以外からも、新しい久木会館に対してのご意見があれば受け付け、次回以降のWSで共有することとした。